

保育園が認定こども園に移行します。市では、認定こども園への運営支援を行い、これまで以上に質の高い教育・保育を行う体制を整えます。

あびっ子クラブの開設

*9月に、市内13校目となる「布佐小あびっ子クラブ」を開設します。これにより、全小学校のあびっ子クラブの設置が完了します。

あびっ子クラブと学童保育室の民間委託



*三小あびっ子クラブと学童保育室の運営を民間事業者に委託します。学童保育室は平日の利用時間の延長や学校休業日の開室時間が拡大されるとともに、あびっ子クラブでの体験活動が充実します。

公立保育園の民営化
*4月から、根戸保育園の運営を社会福祉法人はまなす福祉会に移管します。
学校給食費の補助事業
*市立小中学校に3人以上の子どもが在学する世帯における、第3子以降の学校給食費を全額補助します。

若い世代の住宅取得への支援

*最大20万円の補助制度とし、引き続き実施します。

就学援助の充実
*就学援助費のうち、修学旅行と林間学校に関する費用を全額支給します。

バス事業の推進
*2月1日に運行開始した、平日に天王台駅北口、水の館、市役所、水道局・教育委員会を結ぶ新たな路線バス「アイバス」の活用を支援します。
常磐線・成田線の利便性向上
*成田線の増発および常磐線特別快速列車の我孫子駅停車などについて、J・R東



▲新たな路線バス「アイバス」

主な都市整備

橋梁の長寿命化対策

*白山跨線人道橋の修繕工事を行います。

手賀沼公園・久家線の整備

*用地取得に向けた交渉を進め早期完了を目指します。
下新木踏切道の整備
*道路用地の取得と歩道拡幅工事を行います。また、踏切の早期整備に向けて、引き続きJ・R東日本との協議を行うとともに、地権者との交渉を進めます。

下ケ戸・中里線外1線の整備

*千葉県が進めている国道356号我孫子バイパスの整備に合わせて、都市計画道路の整備を行います。

駅施設の整備

*我孫子駅構内エレベーターの整備に向け、基本設計を行います。
*湖北駅では、我孫子駅側に約35mのホーム屋根設置工事および自由通路下部修繕、自由通路の防犯カメラの更新、北口エスカレーター1の修繕工事を行います。
*布佐駅では、照明器具の修繕を行います。

下水道の整備

*湖北駅北側地区や下ケ戸西側地区に下水道管を布設するとともに布佐駅東側地区の実設計を行います。

新たな文化拠点施設の整備検討

*建設構想案の策定を進め、策定後は、議会や市民に提示し、新たな文化交流拠点施設建設の是非も含めて、広く意見を聴いていきます。

その他の事業

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

*8月に千葉県で開催される第16回世界女子ソフトボール選手権大会に出場する海外チームの事前キャンプ招致に引き続き取り組みます。

国民健康保険の広域化

*国民健康保険を将来にわたって安定化させるため、4月から都道府県と市町村がともに国民健康保険の保険者となり、それぞれの役割を担います。

新たな文化交流拠点施設の整備検討

*建設構想案の策定を進め、策定後は、議会や市民に提示し、新たな文化交流拠点施設建設の是非も含めて、広く意見を聴いていきます。

市税の徴収率向上

*納税コールセンター業務を引き続き実施し、自主財源である市税の確保に努めます。

ふるさと納税

*新たに手賀沼エコマラソンへの出走権をお礼品に加えるなど、魅力のあるお礼

誰もがいきいきとくらしを営むまちを目指して

我孫子市長 星野 順一郎



市では、人口減少や少子高齢化に対応するため、「メディアミックス」による情報発信や婚活支援事業の充実や住宅取得への補助、保育園の待機児童ゼロを堅持するなど若い世代が住みやすい環境づくりに努めてきました。

また、昨今増加している外国人にも情報発信できるよう、ホームページや公衆無線LANを外国語対応にするなど外国人も住みやすい環境づくりに努めてきました。その結果、転入者が転出者を上回りました。

平成30年度は、幼稚園などの認定こども園移行への支援や第3子以降の給食費の金額補助など、若い世代が子育てしやすいまちづくりへの取り組みや、消防の緊急車両や小中学校の施設

設備、駅施設、橋梁の整備、水害対策、新クリーンセンターの整備など、市民の安全・安心を守るための事業を中心に実施していきます。

また、今後の産業振興の充実を図るため、我孫子新田の農産物直売所跡地の活用を検討していきます。これからも、安全・安心で活力のあるまちづくりに取り組み、誰もがいきいきとくらしを営むまちにしていきます。

また、30年度は、市内に1カ所設置します。

図 企画課・内線270